

チャレンジ項目記入数 11

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・経営理念及び経営目標及び会社のあるべき姿を毎朝の朝礼で従業員に説明し共有している。								8	9								17		
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・飲酒運転撲滅を始めとする法令遵守の規定を就業規則に設けると共に、法令遵守の重要性を朝礼時、個人面談時に全社員に発信している。																	16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・不正競争の禁止を就業規則に明文化すると共に、その重要性について社長より全社員に発信している。 ・不当な値引き圧力がないか、請求書を社長が最終確認する体制を整備している。										10								16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・担当者を設け、企業活動が社会・環境に及ぼす正の影響と負の影響を把握し、社長が最終確認する体制を整備している。																		16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・現場でこれまで培った技術、経験、ノウハウについて知的財産の保護に関する外部研修や社内勉強会を実施している。								8.2 8.3	9									16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・取引先や、社員の個人情報は、クラウド管理を行い情報漏えい対策をすると共に、データにパスワードを設定し適切に管理している。																		16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・他企業と共同での工事の施工前打合せや、施工後の立会、アフターメンテナンスを行い取引先との積極的な対話を実施している。 ・業界団体等とのコミュニケーションを大事にしている。																	16	17	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		・業界団体や取引先の活動に关心を持ち、対話を努めている。 ・災害発生時の復旧支援活動や、地球環境など問題意識の共有に取り組んでいる。					5			8	10		12	13	14	15	16	17			
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		・簡易版BCPは2024年2月策定済。従業員への共有及び備蓄物資の確認に取り組んでいる。								9		11		13.1						16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		・税理士と連携のもと、事業継承税制の適用を受け、関連する手続きを全て完了。現在は、後継者による事業運営を円滑に進めている。								8	9									17	
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●			1	2			5			8				12	13	14	15	16	17		
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・雇用、教育、昇進・登用、福利厚生等につき、差別を行わない方針を就業規則に設けると共に、個人面談時に代表者から説明を行うことにより、体制・運営を整備している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8	10.2 10.3								16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・運転者が始業前点検を実施する他、現場ごとのコミュニケーション強化により安全な労働環境を整備している。 ・営業車両にドライブレコーダーを設置する他、空調服及び日除け付きのヘルメット支給を行い熱中症対策に取り組んでいる。			3						8.8										
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・従業員の公正な待遇の為、同一賃金同一労働の原則に沿った対応を行い、就業規則に明文化している。 ・建設キャリアアップシステムに登録し、技能者のスキルやキャリアを見える化することで適正な待遇の確保に取り組んでいる。					5.5			8.5	10.2 10.3										
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・時間管理の徹底による時間外労働の削減や、有給休暇完全取得等、働き方改革への取り組みを実施している。			3		5.5			8.5 8.8	10.3										
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・外部講師によるパソコン研修の実施や、必要経費の支給により、各種資格の取得を奨励している。 ・外部講師による新製品の勉強会や、建設キャリアアップシステム登録により技術者のスキルを見える化することで目指すべきキャリアの把握および個人のスキルアップに取り組んでいる。				4	5.5			8	9										
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・社員の健康診断の経費補助や現場での熱中症対策、検温を行うなど感染症防止にも取り組む事により、健康経営に取り組んでいる。			3					8									17		
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・女性及び外国人労働者を雇用し、多様な人材が活躍できる環境の整備に取り組んでいる。				4.4	5.1 5.5			8.5 10.2 10.3									16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・社外とのWEB会議や勉強会ができる環境を整備し、新しい生活様式への対応を行っている。			3					8	9.1		11	12							
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・PCデータのクラウド管理、写真等の管理ができる建設現場用のパソコンソフトを導入し、業務効率化に取り組んでいる。								8	9.1		11	12							
	21	【プライム企業】 ・プライム企業に認定されている。	●		・熊本県プライム企業認定を目指す。【予定2026年6月】			3	4				8	9		12								

チャレンジ項目記入数 11

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・建設現場での適切な産業廃棄物の分別、リサイクルの実施や有害化学物質の適切な管理・処理に各現場の現場責任者を中心として取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1			
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・太陽光パネルを設置し、オフィスの節電に取り組んでいる。 ・【予定】令和8年3月までに、簡易計算シートを用いて、エネルギー使用量を把握する。導入が伸びた理由は新しいツールを使う余裕がなかった為。							7.3						13					
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・排出ガス対策型建設機械への代替促進を積極的に行っている。 ・【予定】令和8年3月までに、簡易計算シートを用いて、温室効果ガスの排出量を把握する。導入が伸びた理由は新しいツールを使う余裕がなかった為。		2.4				7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15				
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・熱の吸収を抑制し、建物内部の室温上昇を緩和する遮熱塗料等、環境に配慮した材料の選定、製品の使用、サービスの提供を通じて生物多様性の保全に取り組んでいる。					6.6								14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・現場における産業廃棄物の削減や、グループ会社での産業廃棄物中間処理を通じて廃木材については家畜用のオガ粉に、コンクリート、アスファルトについては破碎した後リサイクルに取り組んでいる。							9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15					
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・給水装置作業主任技術者の資格保有者が在籍している他、公共工事を通じて水道施設工事等を行うことで水資源の保全に取り組んでいる。 ・工事現場で使用する水は、汚濁防止の為水質検査を行い水を放流する等水資源の保全に取り組んでいる。		2.4			6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・事務所で使用する事務用品については、エコマーク認証品等を積極的に使用している。							9.4			12.4 12.5	13	14	15					
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●			1	2			6.4						12.3		14	15		17		
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●												11.6 11.7		13.1 13.3		15		17		
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。	●		・太陽光パネルの設置や排ガス対策建設機械を導入し、エネルギー使用率削減に取り組んでいる。					7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3							
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●												12.2 12.5		14						
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●										9.4		11.2		13.1 13.3						
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●	●						7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13						17.2	

チャレンジ項目記入数 11

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・定期的に機械の整備を行うと共に、点検記録を管理することでサービスの安全性を確保している。			3.9						9			12.4						
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・本業の公共工事を通じて学校に車いすが入りできるトイレを設置する等、誰もが利用しやすいサービスの提供を行っている。									9.1	10	11.7						17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。	●				2.3	2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。	●									7					12.2	13.1		15			
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	●		・本業である公共工事を通じて、環境に配慮した遮熱塗料の使用等積極的に行い環境に配慮したまちづくりに大きく貢献している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に取り組んでいる。	●				2.3	2.4						8.2	9.2	9.4		11.a	12.2		14	15	
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・地域の防災活動や、災害時の復興支援を通じて社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・社員の緊急連絡網を作成し、災害時の安否確認に活用している。 ・事業所に土嚢や水等の備蓄を行い、防災対策に取り組んでいる。				4							11.5		13.1			16		
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。	●		・地域消防団に加入している社員が2名在籍している。 ・災害等の警報や注意報の防災情報が発令された際は、社員が社内に待機し出動可能な体制を構築し、地域の防災、減災に取り組んでいる。	1.5		3	4							10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。	●											9		11	12	13.1					
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。	●		・「SDGs委員会」を設置し、金融機関と連携し事業活動において社会課題の解決に繋がる取り組みを推進するとともに、定期的な開催により課題解決と進捗の共有を取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。	●		・熊本県産業資源循環協会を通じて小学校へ、熊本県建設業協会を通じて高校生へ出前授業を行い、学びの場を提供している。				4					8.6		10.2						17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。	●						4.4					8.5	8.6								17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。	●				2		4.3	4.4	4.5			8.6		10.2		12	13	14	15		17

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。